

発行所
八郷町役場
茨城県新治郡八郷町
大字柿岡2009
電話 柿岡4・104・114・149番

印刷所
飯島印刷所
石岡市守木町

戸数と人口
—11月末現在—
世帯数 5,701
人口 男 15,525
女 16,379
計 31,904

八郷広報

追加更正予算 3百15万5千円

町議会第4回定例会は、12月13日午前10時から役場議場でひらかれた。
会議は①専決事件の報告、②町税条例の一部改正する条例、③昭和35年度歳入歳出追加更正予算、④町道路線の廃止、⑤町教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めること、⑥町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙、を審議、原案どおり可決されました。そのあらましは次のとおりです。

町議会第4回定例会

町税条例の一部改正

○専決事件の報告について
これは、さきに行なわれた衆議院議員選挙の際の手当、報酬、需用費など三十九万四千四百七十円を追加予算として専決したもので、歳入は金額が国庫支出金でまかなわれたものです。

○町税条例の一部を改正する条例について
この改正は、木材引取税の課税標準が、いままで石当り課税であったものが、明年の一月一日から素材をはかる単位が全面的に「メートル法」に切り替えられることになったため改正されたもの。
税額は、自治省通達によるもので、一石は〇・二七八立方メートルとして換算、実質的な負担の変動はありません。

○昭和35年度八郷町歳入歳出追加更正予算について
こんどの追加更正は、歳入では町税の自然増と納税率の上昇による収入見込みで、歳入歳出追加更正の主なものはこのとおりです。

△歳入
【町税】町民税、固定資産税、電気ガス税の現年度分二百二十万円を追加

【国庫支出金】—標準保護児童生徒給食費補助追加分と衆議院選挙委託金で二十九万七千八百円追加

【県支出金】—林道開設費補助、小児マヒ予防接種補助金など三十九万四千六百円追加

【雑収入】—小児マヒ予防接種費など二十九万二千四百五十円追加

追加合計
三百一十五万五千六百五十円

△歳出
【役場費】—施設その他備品費二十万、町長交際費十萬、庁舎建築設計費変更による追加十八万七千円など計六十三万三千円を追加

【消防費】—ホース三十本、代三十一万五千円など計三十二万五千円を追加

【土木費】—下館石岡線柿岡地内舗装工事追加分二十万、追加、道路維持修繕材料費五十二万、更正減、林道開設工事費三十四万、青田農道工事費追加分六十九万五千円追加など、土木費全体で八十二万一千円を追加

【教育費】—小学校標準保護児童給食費追加三十三万七千六百円、文化祭費十萬円など計六十九万一千三百円を追加

○町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について
これは、町選挙管理委員会五十円を追加
【保健衛生費】—小児マヒワクチン代その他三十二万七千八百円など三十三万三千八百円を追加

【選挙費】—衆議院議員選挙振手当て十一万五千円など十一万八千円追加

○町道路線廃止について
このほど青田、弓張地内の農道改修工事に対し、県事業として補助が決定したが、道路法によると、該当路線の町道は廃止することが前提となっていてのことから、青田、弓張地内の一千四百四十一メートルを一時的処置として廃止したものです。

この農道工事が修了後は、また町道として再認定が予定されている。

教育委員に富田氏

○町教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めること
町教育委員会委員が、十月一日から欠員となっていたが、その後任として、人格識見とにすぐれた大字小幡の富田允寿氏(55)が、議会の同意を得て任命された。

八郷町商工会生る

会長に須藤善一氏
町内在住の商業者を一丸とした商工会法による八郷町商工会を設立するよう話し合いを進めてきたが、このほど結成の運びとなり、十一月十七日午前十時より八郷公民館で創立総会をひらき、四百八十五名の会員から成る「八郷町商工会」が生れた。

役員は次のとおり
会長 須藤 善一(園部)
副会長 菊地茂雄(柿岡)
大橋 藤吉(小幡)
理事 浅野 光一(柿岡)

委員と同補充員が、ことし十二月いっぱい任期満了になるので、地方自治法の規定によつて三十六年一月一日付で就任する選挙管理委員会委員とその補充員をそれぞれ議会が選挙するもの。

各地区より一名の推薦委員を出して選挙の結果、次の諸氏が選ばれた。

選挙委員
岩瀬 源市
松崎 鉄之助
竹 熊 豊
中 島 要
岡 野 国
友部 益爾
小林平右衛門
萩原 三雄

同補充員
小幡 正三

冬休みの親の心得帳

子どもたちが待っていた冬休み(正月休み)になりました。
夏休み四十日のしゃく熱の季節は、解放の季節であり、水とともに暮す脈動の子どもの生活は、たいへん環境に支えられています。配された人々、年末や年始をひかえて浮々として話したり、ゲームに没入したり、子どもはじつと本心に生きているように感じられます。

年末・年始と子ども

「一年の計は元日にあり」といふとおり、ただ正月を祝うというのではなく、みんな将来を考えたように計画を立てるようになり、新年は人々を一新する契機になっています。はじめて意識があらわす。

冬休み(正月休み)になり、夏休み四十日のしゃく熱の季節は、解放の季節であり、水とともに暮す脈動の子どもの生活は、たいへん環境に支えられています。配された人々、年末や年始をひかえて浮々として話したり、ゲームに没入したり、子どもはじつと本心に生きているように感じられます。

この二週間の休みのうちに、子どもたちは、お父さん、お母さんは、与えた小づかいの使途や、交友関係によく気をくばることが必要です。

よく問題児は問題の多い家庭から、といわれますが、お父さん、お母さんが、この機会を活かす心のゆとりがないことが、問題児を生ずる原因にもなっているように感じられます。

柿岡・林・神影間のバス開通

一日五往復

八郷町合併当初より園部・林地区関係部民の要望としていた柿岡・林・神影間定期バスが、十二月一日より開通し、町は早期開通を目標に、山崎橋、桶川橋をコンクリート橋にかけがえ、又地元では、道路維持修繕に農繁期の折に、関係者多数が集まり、盛大な開通祝賀式を行なった。

町は早期開通を目標に、山崎橋、桶川橋をコンクリート橋にかけがえ、又地元では、道路維持修繕に農繁期の折に、関係者多数が集まり、盛大な開通祝賀式を行なった。

湯袋林道工事に着手

二月末完工

塚谷建設請負で

筑波山東側の中腹をよこぎり、美しい景観をほころ湯袋峠・風返峠間の林道(広根場林道)三・六キロの全行程が、およそ七年ぶりに、来春二月中、おそくとも三月末までに完成する。

こんど新設される林道は、現在でている広根場林道(昭和二十九年完工)延長二千四百二十六メートルのさき、一千六百六十メートルで、そのうち園部林内の八百メートルを管轄が施行(来年八月末完工予定)し、残りの三百六十メートルを町が行なうもの。

町が「湯袋林道開設工事」として、県の補助をうけて行なう延長三百六十メートル、道巾三・六メートルの工事請る。

◎自治産業講習会◎

町は農業振興を図るため、農業者の中堅層、指導的地位にあるもの一地区30名程度を選び、自治産業の知識をたかめる目的で、自治産業講習会をひらきます。

□とき 1月18日～20日(3日間)
□ところ 八郷町公民館

講習科目と講師 農政問題(鯉淵学園 鞍田教授) 養鶏(県種畜場 諸岡技師) 果樹園芸(県園芸試験場 岩佐場長) 養豚(県種畜場 真田技師) 一般教養(茨大 塚本教授) 地方自治(県地方課 児玉課長)

俳句会

雨寒し肩巾着のさし傘に

灰皿にバケツ使へど 文化人

鉛筆の耳搔き 文化人

文芸の舐れ合う火花 文化の日

児童の健全育成指導者講習会

ひらく

土浦支庁民生課主催による児童の健全育成指導者講習会は十一月十二日柿岡小学校講堂でひらかれた。児童委員、各学校こども会指導者、PTA役員、婦人会関係、青年団部活動とも指導者、単位こども会後援会関係者など二百二十名の受講者があり、「児童心理と指導について」茨大の林正邦教授の講演や、「児童福祉事業、児童の健全育成の方策」について、支庁民生課の指導発表のあと研究協議を行なった。

またレクリエーションの理論と実践があつて、今後の児童育成、こども会指導などに大いに力をそえた。

1月の納税

町民税
国民健康保険税
第4期分
31日限り

